

N P まとめ

G 議場

Argentina



論点1

- AIの透明性, 安全性の強化
- 使用条件を設け、人間の責任ある管理
することを呼びかける

論点2

- 責任の分担を明確にするルール作り
- 各国の相談窓口を作る
- 国際的な監視と年次報告

2日間よろしくお願いします！



Canada



論点 1

国際的な共通基準
透明性の確保
監視機関の設立

論点 2

責任者の明確化
報告の義務化
国際監視機関

2 日間よろしくお願いします！！



China

中華人民共和国

[スタンス]

▷論点①

LAWS の使用には反対

各国の主権を最大限に尊重した柔軟性のある規制を求める

▷論点②

開発者・提供者・利用者の共同責任とする

軍事関係の国際的被害に関しては安保理での議論を支持

各国の主権を損なわないかつ

排他的でない基準と規制が必要

コスタリカは
軍事力を
持ちません

論点2

- ★責任は利用者
- ★重大な決断時は
人の監視・制御下に
- ★年齢に適した責任を
→国際法に！



Costa Rica

- ★安全で責任ある
生成AI
- ★軍事用AI禁止
→国際法に！

論点1

平和のために、
コスタリカにしか
できないこと。

G07

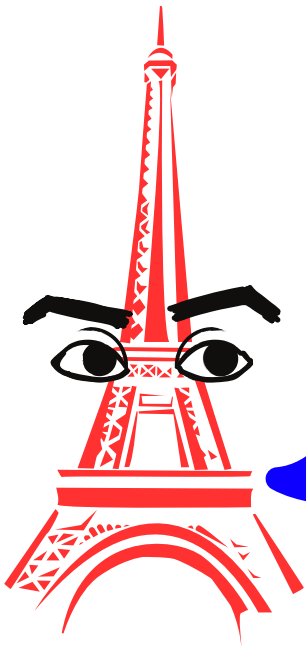
FRANCE

論点 1

人権が侵害されてしまう可能性が高いAIシステムを厳しく規制する

論点 2

国連総会第一委員会か第三委員会でAIの誤作動への対応を、人権の侵害を許さないことを基準に考え議論する



**暑さに負けず、より良い会議
ができるように頑張ります！
2日間よろしくお願いします！**

G08



ドイツ

Germany

論点 1

生成AIは利用者の安全や検地を保護したり、個人情報を含む内容を厳しく制限する。
また軍事AIは自立型兵器を反対し、防御などに限定して使う。

論点 2

AI法を基準にすることを強く支持する。
また国際的な被害が出てしまった場合、既存の機関またはUNESCOで議論を行うべきと考える。

ドイツは軍事AIに対して慎重かつ論理的、安全性を重視しています。
様々な国の状況を理解し、すべての国に利益のある議論にしましょう！

G09

India

論点 1

- 開発、使用に制限は基本的にはかけない。
- 国際人道法の厳守。
- 第一委員会のもとに新機関を設立し、この機関が判断した場合に軍縮会議を行う。



論点 2

- 誤作動の責任は国家が負う
- 誤作動を起こして損害を出した場合新機関で加盟国が話し合いどのような経済制裁を行うか決める。

実りのある会議にしましょう
二日間よろしくお願いします！！

Israel



論点1

- ・ LAWSは**人間の関与**を使用条件とする
- ・ 「AI生成コンテンツ」の表示義務

論点2

- ・ AIの誤作動の最終的な責任は**人間と国家**に帰属する
- ・ 制裁は**既存**の国際機関、国際法に基づき対応する

国家の安全保障の維持を大切に話し合いを行いたいと思っています

2日間よろしくお願いします！



JAPAN

こんにちは！日本大使です！

日本は、AIの軍事利用を完全に否定はせず、人間が責任を持って管理すべきだと考えています。

完全自律型兵器（LAWs）の将来的に使わない方向を理想としています。

国際法の重視、透明なルール作り、安全性の確保を重視しています。

そのため、

① 積極的にAIを規制したい国

② AIの規制に慎重な国

という2つのグループに分け、論点①の「AIの規制」について議論したいと考えております。



Kenya



主張① AI が誤作動した
時の責任ルールを国際的
に整備すべき！

<どのような課題か>

- ・ AI が誤作動しても誰が責任を取るか曖昧

主張② 人間の判断なしに AI が攻

撃するのは禁止すべき

<そのための政策>

- ・ 人間の最終判断を義務づける国際協定を作る。
- ・ 完全自動の AI 兵器は禁止し、人権を守るルールを明文化する

G13

Libya



論点 1

- ①生成AIに対する政策、規制について
- ②LAWSは完全廃止すべきか、規制すべきか

- ①AIの最適な使用を促進し、**リスクを軽減する原則と管理を準備する**べき
- ②人間が生死の責任ある意思決定に関与しない**軍事AI**の使用を規制するべき

論点 2

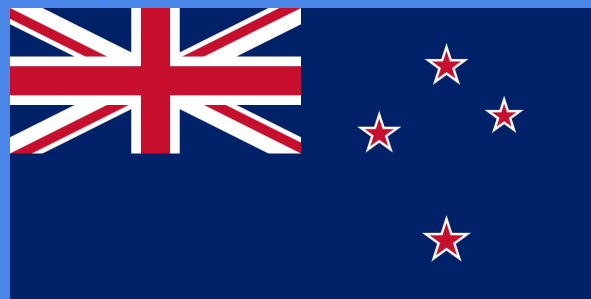
- ①AIの誤作動の責任の所在について、法律を設けるか
- ②AIの被害に対して、どこで議論を行うか

- ①**開発国側が責任を取る**べきだと考える
- ②国連に新たなAIに関する**専門機関を**
設置していきたい

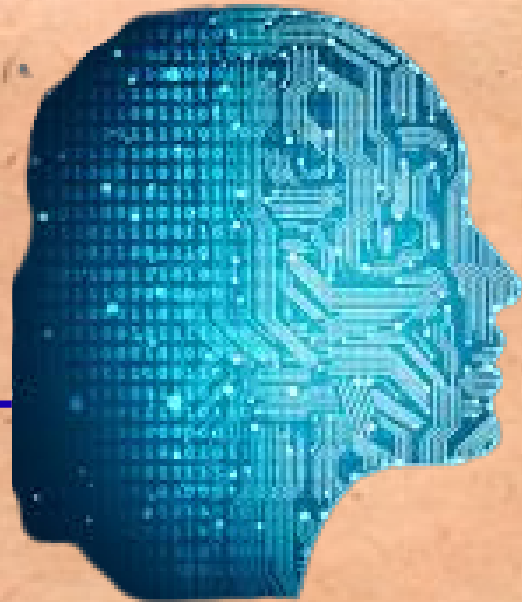
軍事用AIは愛を知らない 知っているのは戦争だけ

ニュージーランドの基本政策

- ・生成AIをリスクベースで規制
軍事転用を規制
- ・LAWSの使用を完全禁止
半自律型兵器の使用条件を明文化
- ・共同責任(法や倫理を重視)



国際社会が平和に
近づけるよう、
有意義な会議に
しましょう



Norway

論点1

生成AIの軍事利用の規制と
人間の関与の義務化



論点2

責任の所在を明らかに
し、AIの暴走を阻止

2日間よろしくお願いします！

MODEL UNITED NATIONS

AI AND MILITARY

ISLAMIC REPUBLIC OF PAKISTAN

NEGOTIATION PAPER

論点 1：軍事 AI の合法的枠組みと論理的規制の構築

AI の軍事利用は国家の安定を脅かす可能性を持つため
国際社会全体で共有可能な合法的枠組みと
倫理的・論理的な規制の整備を早急に進める必要があります

論点 2：軍事 AI の誤作動の責任に関する国際ルール整備

AI による誤作動や民間被害の発生時における
一方的な責任追及を避けるため、開発国・提供国を含む
多国間責任体制の議論を進めることが不可欠だと考えます



論点1

国際的に貿易が盛んに行われている、多くの国が利用している運河への軍事用AIを利用した攻撃禁止

論点2

AIが誤作動を起こした際の責任を明確にし賠償・謝罪・再発防止・を徹底する



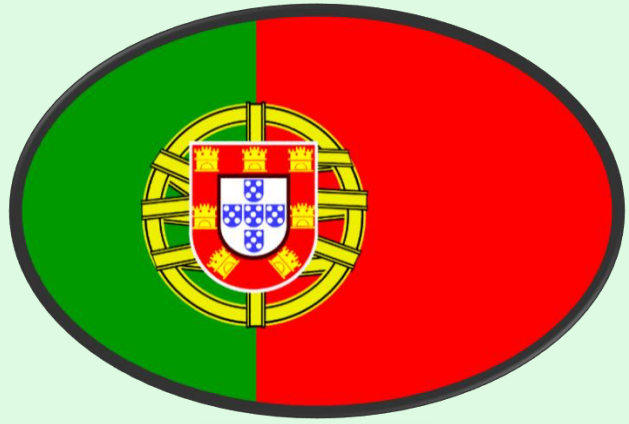
軍使用AIを防御的に使用し攻撃には使用しない姿勢を取ります。

AIを平和的に発展する事を望みます。

素敵な2日間にしましょう！

G20

Portugal



政策

論点1 使用上のリスクに着目したAIの分類

論点2 AIの誤作動時の記録を保持し、事後分析を可能にするシステムのAI内部への搭載と事後分析をおこなう国家機関の各国ごとの発足

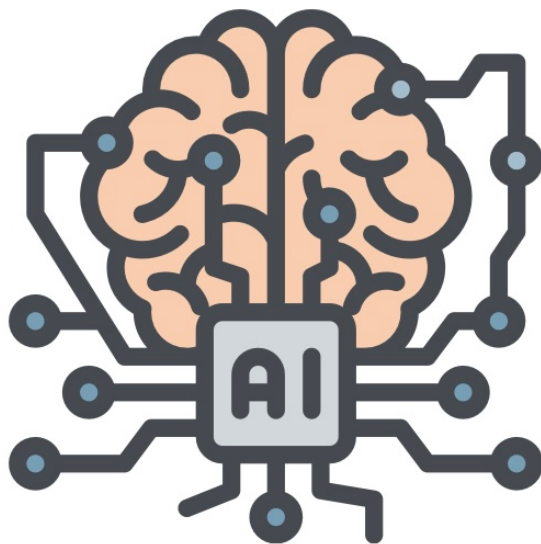
軍事AIについては人間が適切な関与をすることを前提とし、国際機関での規則を定め
たうえでのAIの開発・使用を目指します！



2日間、よろしくお願いします！



G21



技術発展が第一

我々ロシアは長期的な視点を
優先します。

G22

South Korea



論点 1 - 新機関の設置

AIGC (AI General Committee)
を各国に設置



論点 1 -

国連内部のAI総括委員会が共通のルールを定める。

論点 1 - 新機関設立

AI統括委員会 (AI General Committee) の本部を韓国に設置



論点 1 - 設立場所

AIの利用状況を監視する機関が現時点でない国は設置する

論点 2 - 責任の所在

三つの責任に分類(開発者責任、使用者責任、国家責任)



Switzerland

「平和はプログラムできない。平和を、地球をAIには任せられない。」



論点 1

LAWSは完全自律型の兵器とする。
LAWSは完全禁止するべき！！

論点 2

国家の使用は国家の責任！
反政府組織の利用は個人また組織の責任！

グルーピング

LAWSの使用に反対・規制・賛成の3つのグルーピング！

短い時間ですがよろしくお願いします！！

G26

United States



AIに関する国際協力を目的とした新機関の制定



国際的な基準作り(論点1)

「人工知能と自律性の責任ある軍事利用に関する政治宣言」の反映

世界共通のガイドライン作成(論点2)

諮問機関の設置 (専門家)

生成AIの過度な規制の緩和と軍事用AIの危険性を主張したい

G27

VIETNAM

論点1：新たな国際機関を作り、AI教育・透明性・軍事AIの国際基準化・安全性のテストで規制。

論点2：誤作動は100時間内に報告、国際機関が責任を分析し、罰金・改善をし再発防止を目指す。

AI発展を重視しつつも、AIには透明性・安全性・責任・国際基準が欠けており、発展途上国も追いつけるルールづくりを目指しています。

**より良い世界を作るために、
私たちと手を組みましょう！**